能と狂言

鉄仙会

TESSENKAI

定期公演

翁（おきな）　浅見　慈一

舞囃子　花月（かげつ）　観世銕之丞

狂言　文蔵（ぶんぞう）　山本東次郎

能　嵐山（あらしやま）　白頭　西村　高夫



2027年1月10日（日）

午後1時30分開演（午後1時開場）

会場　観世能楽堂

錵仙会定期公演〈1月〉

2027年1月10日(日)　午後1時30分開演

翁（おきな）

翁　浅見　慈一
三番三　山本　則秀
千歳　小早川泰輝
面箱　山本　則重
笛　藤田　貴寛
小鼓頭取　大倉伶士郎
〃　脇鼓　上田　敦史
〃　長尾　樹
大鼓　佃　良太郎
地頭　清水　寛二

「とうとうたらりたらりら」という翁の謡い出しから始まり、颯爽とした千歳の舞、荘重な翁の舞、三番三の力強い揉之段、鈴之段が舞われる。天下泰平・五穀豊饒を寿ぎ予祝する、能の古態を留める神事の芸能。

〈休憩20分〉

舞囃子　花月（かげつ）

シテ　花月　観世錵之丞
笛　藤田　次郎
小鼓　曽和伊喜夫
大鼓　國川　純
地頭　柴田　稔

父と生き別れて東山雲居寺に仕えている少年花月が、芸の数々を見せる芸尽くしの能。
舞囃子では、父と再会した花月が鞨鼓を打ちつつ山廻りの日々を語り舞う最後の場面を見せる。

狂言　文蔵（ぶんぞう）

シテ　主　山本東次郎
アド　太郎冠者　若松　隆

都見物に出かけて帰宅した太郎冠者。主人の伯父にご馳走になった食べ物の名がなかなか思い出せず、その名は石橋山合戦の話の中に出てきたというので、主人が語ると…。

〈休憩10分〉

能　嵐山（あらしやま）　白頭

前シテ　後シテ　蔵王権現　尉　西村　高夫
前ツレ　子方　子守明神　安藤継之助
〃　勝手明神　安藤　玄恵
ワキ　勅使　則久　英志
ワキツレ　従者　大日方　寛
〃　〃　渡部　葵
アイ　末社　山本　則重
笛　一噌　隆晴
小鼓　鳥山　直也
大鼓　亀井　洋佑
太鼓　澤田　晃良
地頭　浅井　文義

吉野より移した桜を見に来た勅使が嵐山で出会った花守の夫婦は、実は子守明神と勝手明神の化身であった…。神木の桜のもと、神々が姿を現して春景色を愛でつつ舞を舞い、さらに蔵王権現が衆生済度を誓って御代の繁栄を願う。

〈午後5時15分頃終演予定〉

「翁」上演中は客席への入退場を制限させていただきます。時間に余裕をもってお早めにご来場下さい。

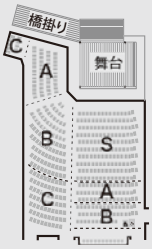
◎より詳しい解説を錵仙会ホームページにて順次公開しております。ご観能前に是非ご覧下さい。
※携帯電話等、音や光の出る機器の電源は予めお切り下さい。
※無許可の写真撮影、録音、録画は固くお断り致します。
※客席内でのご飲食はご遠慮下さい。

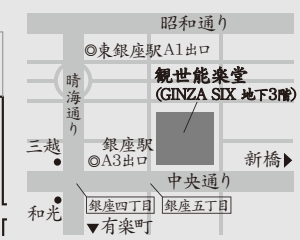
会　場：観世能楽堂（全席指定）
〈交通〉銀座駅（A3）徒歩2分
東銀座駅（A1）徒歩3分
有楽町駅（銀座出口）徒歩10分
〒104-0061
東京都中央区銀座6-10-1
GINZA SIX 地下3階
TEL03-6274-6579
※併設の駐車場がございます。詳しくはGINZA SIXホームページにてご確認ください。

入場料：S席―8,500円
A席―7,500円
B席―6,500円
C席―6,000円
U25（25歳以下）4,200円

賛助会員　年間指定席／年10回
S会員―61,000円
A会員―53,000円
B会員―44,000円
C会員―40,000円
※賛助会員制度は1月より1年間同じ席でご覧頂くというものですが、随時入会も可能です。詳しくは錵仙会までお問い合わせ下さい。

回数券　定期公演・青山能共通5枚綴り
一般回数券―22,000円
U25（25歳以下）回数券―10,000円
※2027年度の定期公演・青山能でご利用頂けます。ご予約受付中。詳しくは錵仙会までお問い合わせ下さい。





お申込：カンフェティ
電話（平日10-17時）050-3092-0051
WEBサイト http://www.tessen.org
※お電話からは座席指定ができません。WEBよりお申込ください。
予約受付開始：2026年10月13日(火) 10時

錵仙会定期公演〈3月〉予告　会場：観世能楽堂

3月12日(金)　午後6時開演

能　俊寛（しゅんかん）
平家転覆を謀った俊寛。その罪を赦す書状に俊寛の名はない。深い孤独と絶望。　観世錵之丞
狂言　箕被（みかずき）
連歌狂の夫に愛想を尽かし妻は家を出ると言う。別れ際に夫が発句を詠むと…　山本　則重
能　竹生島（ちくぶしま）　女体
琵琶湖竹生島に弁財天と龍神が現れ、島の由来を語り、国土の守護を約束する。　鵜澤　久

錵仙会青山能〈3月〉予告　会場：錵仙会能楽研修所

3月28日(日)　午後1時30分開演

能　柏崎（かしわざき）
夫と死別し我が子と生き別れた女は、人の世の儚さ、弥陀の慈悲の無量を説く。　馬野　正基

写真「翁」　観世錵之丞　撮影：吉越研